

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

人の可能性を照らせ。世界の人々の生活を安全で豊かなものにし、幸福と平和に貢献する企業を目指す。

レーザデバイス売上成
20～25%（毎年）

レーザデバイス粗利率
45%

認定製品数増加
9製品（毎年）

② 中長期の経営戦略

1. 中期経営計画推進

2027年3月期全社黒字化目標。レーザデバイス事業と視覚情報デバイス事業で「ベースライン計画」と「成長可能性の追求」を二軸で実行。

3. 量子ドットレーザ展開

波長1300nmで量産技術確立。シリコンフォトリニクス、LiDAR、民生品応用向けに世界ベンダーと共同開発推進。

2. ファブレス型製造体制

デバイス設計・結晶成長・評価に特化。生産ラインは協力会社に委託し、低コスト・高柔軟性を実現。

4. モジュール・最終製品化

Lantanaなど小型可視レーザドライバ内蔵製品を展開。ネット棘走査型レーザアイウェアRETISSAシリーズで消費者向けビジネス化。

③ 対処すべき課題

① 全社黒字化実現

- ・営業利益赤字を2027年3月期に黒字化。成長と黒字のバランスを追求。
- ・2025年3月期で売上・利益とも計画達成。継続的な進捗管理が必須。

② レーザデバイス事業成長

- ・加工・センサ・バイオメディカル領域で年率10%以上の安定成長を目指す。
- ・既存製品拡販・低コスト化と高付加価値製品開発の両立。
- ・量子ドットの光通信・LiDAR・民生品応用研究開発加速。

③ 視覚情報デバイス事業展開

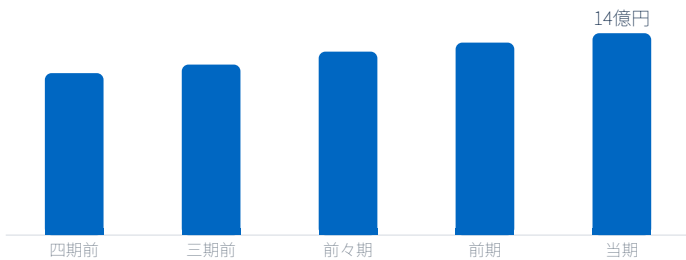
- ・ロービジョンエイド領域の販売拡大。国内はバリアフリー施設導入・イベント推進。
- ・海外市場でパートナー強化・提携拡大・中国市場開拓を加速。
- ・スマートグラス実現に向けアイトラッキング・低消費電力化・高精細化を技術成熟化。

面接で使えるポイント

- ・半導体レーザの532～1064nm幅広い波長領域カバーで、通信・加工・生命科学など多用途対応。
- ・量子ドットレーザで波長1300nmシリコンフォトリニクス光源として高温動作・極低ノイズ特性を実現予定。
- ・RETISSA網膜投影技術で『人の可能性を照らせ』を具体化し、消費者向け最終製品事業も展開。

証券コード 6613

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）営業利益率
－（未開示）財務健康度
63点 / 100点

将来性 曇り時々雨 / 就活偏差値 57.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
831万円

電気機器内 50位/225社

平均年齢
51.08歳

電気機器内 4位/225社

平均勤続
7.72年

電気機器内 209位/225社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

参考: Q D レーザ[6613]: 2026年3月期通期業績予想の修正に

